

# 画家・松下明治：その生涯について：藤田嗣治から松下義晴(治)への絵はがき

著者	松下 幸夫
雑誌名	神戸山手短期大学紀要
号	56
ページ	1-28
発行年	2013-12-20
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1084/00000776/">http://id.nii.ac.jp/1084/00000776/</a>

# 画家・松下明治 ― その生涯について ―

藤田嗣治から松下義晴（治）への絵はがき

松 下 幸 夫

キーワード：藤田嗣治、松下義晴、関わり。

## 趣旨

芸術を目指す学生が、どのように外の人々と関わって芸術活動を行っていたのか、その時代の流れの中で生活していたのかを探るものである。

## 経緯

明治と号していた私の父・義治が亡くなってから1年後の平成十四（二〇〇二）年五月に遺作展が京都市立美術館の別館で開催され、さらに、1年後、父の作品を調査し、何とか纏めたのが二〇〇三年十二月紀要第四十六号「画家・松下明治 その作品と生涯」であり、次に、二〇〇四年十二月紀要第四十七号発表の「画家・松下明治 その作品と生涯 南方派遣時期」を発表している。これらの中において藤田嗣治との関係を取上げていた。

今回は、この二つの発表の間にその当時の藤田との関係を知る事の出来る資料により更にその関係を最近の文献と伴に考察するもの

である。

## はじめに

父、義治が明治と号していたのは戦後の事であったが、それ以前の戦前・戦中は主に義晴と号していた。その事は、前の紀要で既に述べている。その時期、義晴は東京で下宿をし、画塾に通い、東京の美術学校に入学し、パリから帰国間もない藤田嗣治と出会っている。

藤田との出会いについては二〇〇三年十二月発表の紀要第四十六号を始め、二〇〇四年の紀要第四十七号の中で述べている。また、義晴は一九三九年（昭和十四年）一月十二日から三月十四日まで同年十二月二日から一九四〇年（昭和十五年）二月二十一日まで、二度に渡って文部省練習船「海王丸」によって、第二次世界大戦が始まろうとしていたその真近かに戦争の舞台となる南方諸島に海洋絵画研究として派遣され、その後、二科会を始めとし、海軍省等の後援による海洋美術協会、三三美術團展覧会、同舟会展覧会に出品

している。

この頃、藤田はパリに在住していたが、パリからドルドーニュ地方のレゼジ村に一時、避難している。ところが、パリに戻った後、翌年、日本領事から最後通告を受けたため帰国する。その帰国の船上で、第二次世界大戦が勃発した事を知る。

### 藤田からの絵葉書

一枚目の葉書は、横位置で、その大きさは高さ90mm、幅143mm、に書かれたものである。

表の上半分の宛先は、

アメリカ経由のフランスからのもので、藤田は松下の本名ではなく雅号宛にしている。

宛先の住所はその当時義治が住んでいた「東京豊島区長崎二丁目十ノ十八」となっている。

表の下半分は縦書きで十四行に渡る百六十字程の文章である。

文面は、松下からの連絡に留守番の礼を述べ、出品活動に対して「益々画壇にご活躍の由大慶」と伝えている。さらに、松下に「前途は非常に広いものである。」と述べている。その外に、パリの状況は、「戦争気分です、今の処危なくなく」とも述べている。藤田自身の行動について「ガスマスクだけは持って歩いています」とある。

その裏面は、横位置の洞窟画の絵葉書であり、その画の上下の空白部分に三十行で百六十字の表と同量の文章が書かれている。

上の部分は、初めの四行は葉書の画の説明が書かれ、

六から八行目は、「八月二十六日から九月二十一日までパリから避難している」と書かれている。

その他の行では、葉書の画に対する評が書かれている。

その下の部分は、「どうにかしてこの危険な時代を切り抜けます」とある。終わりに、「嗣治 御元氣に」と結んでいる。

二枚目の絵葉書は縦位置で大きさは高さが138mm、幅が89mmである。

表の上半分の宛先は松下の雅号宛にし、住所は藤田本人の自宅兼アトリエの「東京市麹町区六番町十三 藤田嗣治方」となっている。消印は皇紀七年（1940）九月二十七日となっている。

表の下半分は十二行九十字の文章がある。

一、二行目は「九月二十一日、御手紙今朝入手 しました」と在る。

二、三行目は「昨日夜九時半新 京（長春）へノモンハンより帰りました」と前日の行動について書かれている。

四、五行目は「竹谷君から二十四日出の速達 航空便頂きました」と、外の郵便を受け取った事も書かれている。

六、八行目は、「いろいろ留守中のこと厚く 御礼申し上げます いろいろ 家の様子も分かり安心しました」と、松下の留守番に礼を述べている。

九、十二行では「二・三日内 承德行き熱河 へ行き十日程かかる筈十月十五日頃に帰京の筈です」と行動の予定が書かれている。

十二行目では「それまでお願いします」と結ばれている。

裏面は縦位置で新京・国務院廳舎と書かれた写真が上の方にありその上下、左右を囲むように縦書き十行百四十字の文章がある。

縦書きの

一〇三行目は「海拉爾（ハイル）には初雪あった由私の居所でも零下 四度位でした新京（長春）に帰ってこは 涼しい位で大分氣候がちがひます」と、藤田の居た所でも零下の気温であつたらしい、氣候が違ふと書かれている。

四〇八行目は「君も何かお留守番させて 遊ばせて勉強の邪魔をさせては すみませんから画室で画くならかいて下さい」と、松下に留守番をさせてしまつていたのでアトリエの使用を許可している。

七〇九行目は、「十月一日からの 防空くんれんもよろしくたのみます」と、防火訓練についても依頼している。

九〇十行目は、「外蒙の広野の大きい事には驚きました」、「狼も沢山居る由幸い合いませんでした」と、外蒙が広い事や狼の事等が書かれている。

上の

一〇二行目は、「九月二十六日新京軍人会館にて 藤田嗣治」と結ばれている。

三枚目の絵葉書は縦位置で大きさが、高さ139mm、幅88mmである。

表の上半分は、宛先は二枚目と同じく、松下の雅号宛で、宛先住

所は「東京麹町区六番町十三 藤田様方」、消印は皇紀七年九月三十日と成っている。

表の下半分は、十一行約百二十字の文章である。

一〇二行目では、「承德へ今朝たち明日夕方着の予定」であるとして中国での行動予定が書かれている。

二〇七行目には「東京も明後日から防火訓練始まる筈」又、「留守番してくれるので安心して仕事ができ感謝します」と書いている。八〇九行目は、「ここは十一月の寒さです」と氣候についても書かれている。

十〇十一行目は「何れ又 嗣治 たのみます 九月二十九日」と結んでいる。

裏面は当時の新京（長春）の司法部の建物の絵葉書であり、葉書の上の空の部分と建物の建っている地面の部分に文章が書かれ、空の部分には、十七行、下の部分には二行で合わせて約九十字の文章となっている。

上の文章の内容は、

一行目から十七行目までは、「七日間位 承德に居て 八日頃新京（長春）へ戻り この十日 頃出発 して 早くて 十三日頃 東京 へ 帰り度々 十五日より 遅れる 事はない筈 成る可く早く帰ります」と中国での行動が書かれている。

下の二行で、「防空訓練中の大旅行は不便な十日間 でした訳です」と結んでいる。

四枚目の絵葉書は縦位置で、大きさが、高さ139mm、横幅88mm

である。

表の上半分は、これも宛先は二・三枚目と同じであり、松下の雅号宛で、宛先住所は「東京麹町区六番町十三 藤田様方」、消印はほぼ半分が不明であるが、その左下に「承德にて、十月一日梅屋ホテル 嗣治」とある。

下半分は、十行約百二十字の文章である。

一〇四行目では、「美大出身の伍長でここに三年招集受けてる大山英夫君とノモンハンと承德も同行」と書かれている。

六〇七行目では、「画題があつてゆっくりしていられぬのが残念だ」としている。

八〇九行目では、「暖かいので楽し画かいてると暑いくらいで苦しい位だ、」と現地の暖かさについて書かれている。

十行目では、「明日又古北口へ行く」と予定が書かれている。

裏面は承德名勝の離宮から棒垂岩を望む絵であり、その絵葉書の離宮の空の部分に十四行、下の地面の部分に五行の合わせて約七十字の文章である。

上の部分の

一〇七行目では、「離宮の中に兵舎がある」と書かれている。

八〇十四行目では、「いい松がパラパラに在りこの当たりが面白い形してる」と画家らしい目を持って見ている。

下の部分は

一〇三行目までは「よく留守番たのむ、ここは防空訓練内らしいが今日は奉公日 だ」と絵の水面上に書かれている。

四〇五行は空の左端の方に書かれ「皆休 みだ」と結んでいる。

五枚目の絵葉書は、縦位置で、大きさが、高さ140mm、横幅90mmである。

表面の上半分は、宛名書きであり、前のものと同じく、宛名は「松下義晴」と松下の雅号宛であり、宛先住所は「東京麹町区六番町十三 藤田嗣治様方」、消印は「奉天（瀋陽）中央 皇紀七年十月八日」とほぼ全部がよく判る。

表面の下半分は、十二行約百五十字の文章である。

一〇三行目では、「永い間お留守番たのんで 大に君の自由を束縛したがもう直ぐ帰る」とある。

三〇九行目では、「承德から昨夜出て今朝奉天へ出て明日新京（長春）へ戻って十一日又新京から奉天朝鮮通って十二日昼航海下関へ夕方渡って富士で十三日午后東京へ帰る筈だ」とその帰路について書かれている。

九〇十一行目では、「君がしっかり留守 してくれと言ふので大に安心して」と松下の留守番を労っている。

表面の十一〇十二行目と裏面の下の一〇三行目では、「これでも大急ぎで北から南へ走ってとても満州は広いので汽車で寝たのが八日間に成る訳だ」と満州がいかに広いかが書かれている。

裏面は、承德橋の絵葉書で、その橋の下の地面の部分に十行、橋の上の空の部分に三行、合わせて約百二十字の文章である。

下の四〇六行目では、「一度も風も引かずお腹もいたえず」と体調

の管理について述べている。

六〇八行目では、「新京（長春）も今ベスト等在る由氣をつけて外出もせず」と新京ではベストが流行っている事が書かれている。

九行目では、「用事をすませて帰る」と画の取材についても述べている。

十行目では、「みやさんへもよろしく」と松下の外の人物にも氣を付かった言葉で結んでいる。

上の一〇三行目では、「友人へも一通りは葉書も出したが君からもよろしく材料は（作画の）安心だ一通りまとまった」とまた外の者にも氣をつかっている。そして、画材の為の取材が出来た事も述べている。

### 全体として

これらの絵葉書はすべてが藤田嗣治の家の留守番をしていた松下義晴に宛てたものである事がよく判る。

パリからの絵葉書の一枚目の葉書住所は当時義晴が住んでいたと思われる今の池袋から出ている西武池袋線の沿線の長崎辺りの住所となっている。その内容からすると、藤田はパリからフランス南部のドルドーニュに避難し、そのゴームと言う洞窟を見に行っている。さらに、「ガスマスクだけは持って歩いてます」「どうかしてこの危険な時代を切り抜けます」とかなり戦争に対する危機感にあふれた文章を書いている。この危機感のお陰であるのか藤田は間一髪ので所で第二次世界大戦の始まる前にパリを脱出している。

その他の満州からの絵葉書は藤田の自宅兼アトリエである麹町の

住所である。その内容を見ると、藤田は画材の収集の為の取材旅行をしている。それは、ノモンハン事件間もない満州とモンゴルや中国との国境あたりを旅行している。それはたとえ美大出身の人物とは言え軍人が同行しての行動であつたらしい、そのお陰で満州の新京（長春）を基点としてノモンハン、承德、古北口などで絵の画材の取材をして日本に帰っている。

その翌年（1941）、藤田は、取材旅行で得られた画材によって描いた絵を何点か発表している。

### まとめ

義晴の出品活動は、一般公募団体である二科展に一九三七年から一九四一年まで、岸田国士をブレインとする三三美術團展覧会に一九四一年から一九四二年、東京美術学校入学前に入所していた同舟会洋画研究所の同舟舎展覧会に一九四四年、更に、南洋美術展に、一九四一年から一九四三年まで出品している。義晴は軍の嘱託として二度の南方派遣（一九三九年一月〜三月、一九三九年十二月〜一九四〇年二月）、の間、一九三九年八月から十月にかけてと、一九四〇年九月から十月にかけて互いにその行動の間を埋めるかのように藤田と文通している。その絵葉書の文面を見ると、藤田が留守のとき義治は藤田の家の留守番をしている。

藤田は、一九三九年（昭和十五年）五月から一九四〇年六月までの渡仏の間、パリやドルドーニュのジェル村に八月から九月にかけて滞在している。一九四〇（昭和十六年）七月に帰国後し、八月、第二十七回二科展に特別出品している。九月には私的とは言え満州へ軍の嘱託のかたちでノモンハン、新京（長春）、承德、古北口など

を取材旅行し、翌年の一九四一年（昭和十七年）六月に二科会を退会し、七月、第二回聖戦美術展にノモンハン、古北口を題材とした絵を出品している。これをきっかけに、数多くの戦争画を手がける事となる。一九四四年（昭和十九年）九月に一船公募展が禁止され、十月には、各美術団体が解散させられる。

当時、時代の寵児と言われていた藤田と、地方出身の一学生である義晴との二人の関係を如実に物語るものとして残っている写真がある。それは、藤田のアトリエで「古北口総攻撃」の下絵の前で藤田と伴にその当時の絵仲間と写した写真で、そこに写されている人物の服装を見ると一九四〇年十月から一九四一年七月の間の比較的气温の低い時期に写された写真であると思われる。絵の左側手前にはポーズを取った藤田が、左側の奥には義晴が写っている。その外に、旧東京都美術館前で写真がある。そこには三三美術團のブレインであった岸田国土を中央に後列の右端に義晴が写っている。

## 終わりに

藤田は、義晴への一枚目バリからの葉書によると戦争に対する不安な心情を抱いている事を暴露している。それも、戦争が終わることにより終焉を迎える事となるが、藤田と松下の外に芸術（戦争絵画等）に携わる者達も戦争と言う荒波に翻弄されたと思われる。

戦意高揚の為とは言え、不安をかえながら戦争絵画にのめり込んで行ったそのあやうさに危機感を覚える。複雑な数多くの問題を抱えている現代のあやうさに対し警鐘となる事を望み、戦争の為に逝った全ての芸術を志す者にこれを捧げる。

二〇一三年八月十五日（終戦記念日）

松下幸夫

## 書籍資料

湯原かの子著	藤田嗣治 パリからの恋文	新潮社
溝口郁夫著	絵具と戦争 従軍画家たちと戦争絵画の軌跡	国書刊行会
林洋子著	藤田嗣治作品をひらく	名古屋大学出版会
	藤田嗣治 手しごとの家	集英社新書ビジュアル版
木村隆康・林洋子著		

藤田嗣治の絵画技法に迫る。修理現場からの報告

夏堀全弘著	藤田嗣治芸術試論	東京藝術大学出版会
田中譲著	評伝 藤田嗣治	美術の図書 三好企画

近藤 著	藤田嗣治「異邦人」の生涯	芸術新聞社
講談社	藤田嗣治画集 素晴らしき乳白色	講談社文庫

## 展覧会資料

南洋美術協会結成の新聞切り抜き 約 h36 w38

第一回海洋繪画展覧会 案内状 h151 w256

目録 h183 w400

第二回南洋美術展覧会 案内状 h140 w212

出品目録 h183 w252

芸術新聞（毎土曜日発行）昭和十七年九月十九日 第五面 h385 w270

三三美術團声明文 h215 w285

第一回三三美術團案内状 h142 w177

三三美術團展覧会目録 h365 w257

第二回三三美術團展覧会出品目録 h136 w110&220

同舟会第一回展覧会陳列目録 h270 w420

尚、展覧会資料は松下明治資料のスクラップブックの一部として現在、立命館大学国際平和ミュージアムに収蔵されている。（大きさはミリ単位である。）

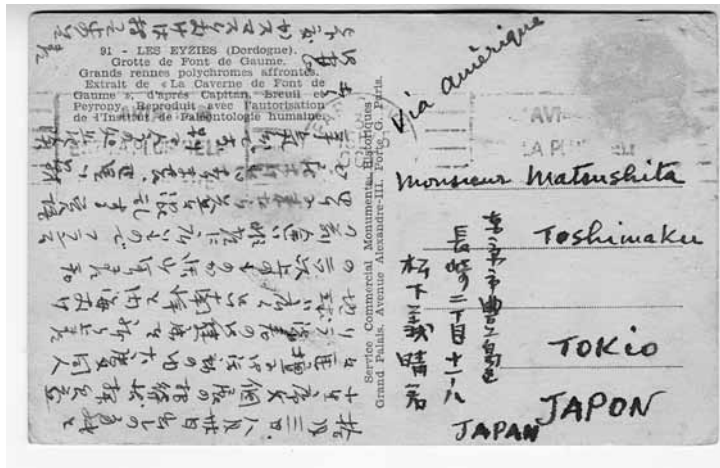
画家・松下明治 ―その生涯について― 藤田嗣治から松下義晴（治）への絵はがき

レイアウトの都合により空白。



葉書資料

藤田嗣治から松下義晴への絵葉書 一ノ表



アメリカ經由 東京都豊島区

長崎二丁目十一ノ八

松下義晴君

十月三日、八月三十日出しの手紙と

小生序文個展の招待状拝見、益

々画壇に御活動の由大慶同人

リラ諸君の御健康を祈り上ます

地球は広く只南洋と内海丈け

の二つ以上のものが沢山あります君

の前途は非常に広いものでフランス

辺りに来たら益々混乱する覚悟

で居なければなりません、巴里は戦

争気分です、別に今の処危険

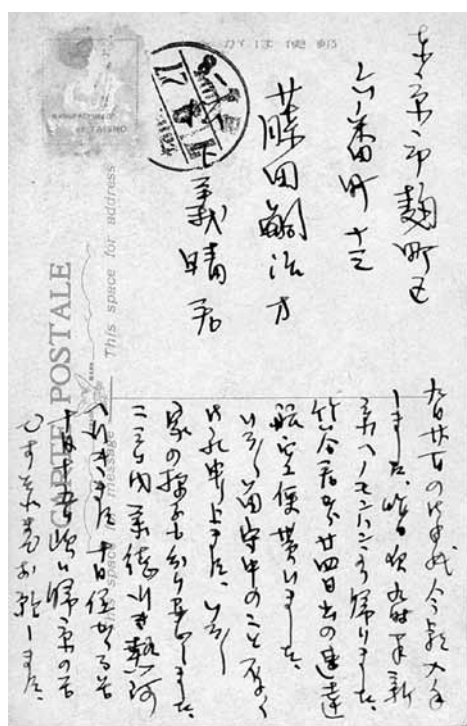
なく

御安心

下されたく、ガスマスク丈けは持って歩いてます



前世紀時代凡そ三萬五千年前の  
人類のかいた洞穴  
内の壁画美事な  
芸術的なものです  
ゴームと云う洞穴へ  
この間八月二六日から  
九月二一日までパリから  
避難している間に  
この辺の  
洞穴  
を皆  
見学して二六年振りに  
又得る処多  
く  
ありました  
今の人の  
出来ぬ様な  
美しいもの  
をこの人達は  
御元気に  
嗣治



東京市麹町区

六番町十三

藤田嗣治方

松下義晴君

皇紀七年 (1940) 9月二十七日の消印

九月二十一日の御手紙今朝入手

しました、昨日夜九時半新

京へノモンハンより帰りました

竹谷君から二十四日出の速達

航空便頂きました

いろいろ留守中のこと厚く

御礼申し上げます いろいろ

家の様子も分かり安心しました、

二、三日内 承德行き熱河

へ行きます、十日程かかる筈

十月十五日頃に帰京の筈

です それまでお願いします、

藤田嗣治から松下義晴への葉書 二ノ裏



九月二十六日新京軍人会館にて

藤田嗣治

海拉爾には昨日は初雪あった由私の居点でも零下

四度位でした新京へ帰ってここは

涼しい位で大分氣候がちがひます

君も何かお留守番させて

遊ばせて勉強の邪魔をさせては

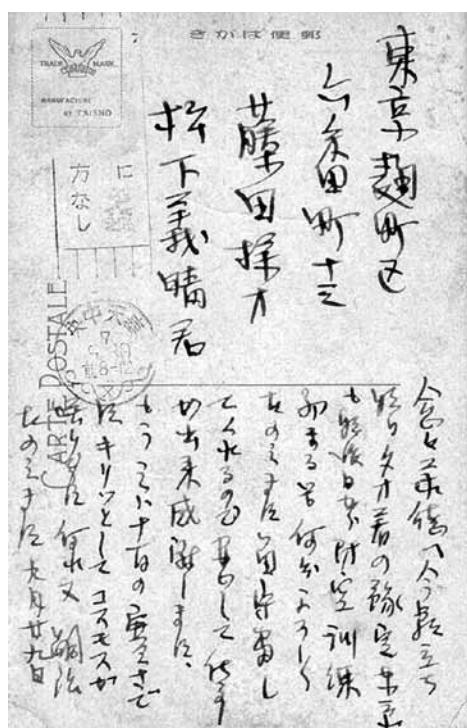
すみませんから画室で画く

ならかいて下さい十月一日からの

防空くんれんもよろしくたのみ

ます 外蒙の広野の大きい事には驚

きました狼も沢山居る由幸い会いませんでした



東京麹町区

六番町十三

藤田様方

松下義晴君

皇紀七年九月二十九日の消印

念願の承德へ今朝たち

明日夕方着の予定東京

も明後日から防空訓練

初まる筈 何分よろしく

たのみます留守番し

てくれるので安心して仕事

が出来感謝します

もうここは十一月の寒さで

すきりっとしてコスモスが

咲いてます 何れ又 嗣治

たのみます 九月二十九日



七日間程

承徳に居て

八日頃新

京へ戻り

この十日

頃出発

して

早くて

十三日頃

東

京

へ

帰り度々

十五日より

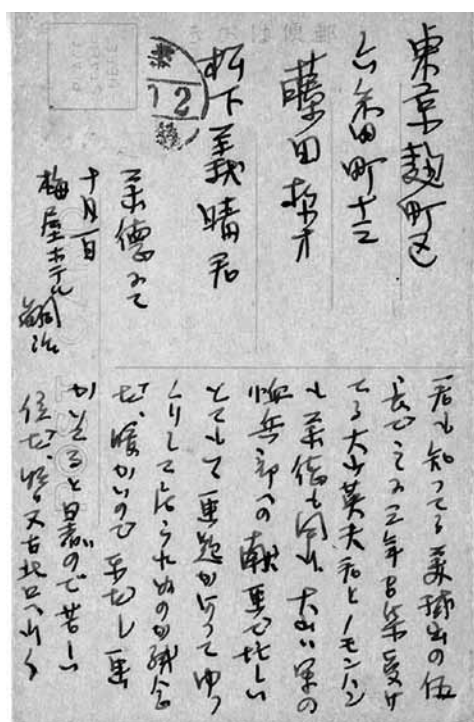
遅れる

事はない筈

成る可く早く帰ります

防空訓練中の大旅行は不便な十日間

でした訳です



東京麹町区

六番町十三

藤田様方

松下義晴君

栄徳にて

十月一日

梅屋ホテル

嗣治

君も知ってる美校出の伍  
長でここに三年招集受け  
てる大山英夫君とノモンハン  
と承徳も同行 大山は軍の  
恤兵部への献画で忙しい  
ととて画題があつてゆっ  
くりして居られぬのが残念  
だ、暖かいので楽だし画  
かいていると暑いので苦しい  
位だ、明日又古北口へゆく



ここは離

宮で

今

兵

舎

が中

にある

いい松が

パラパラ

に在り

この当

が面白

い形

してる

よく留守番たのむ、ここは防空訓練ないらしいが

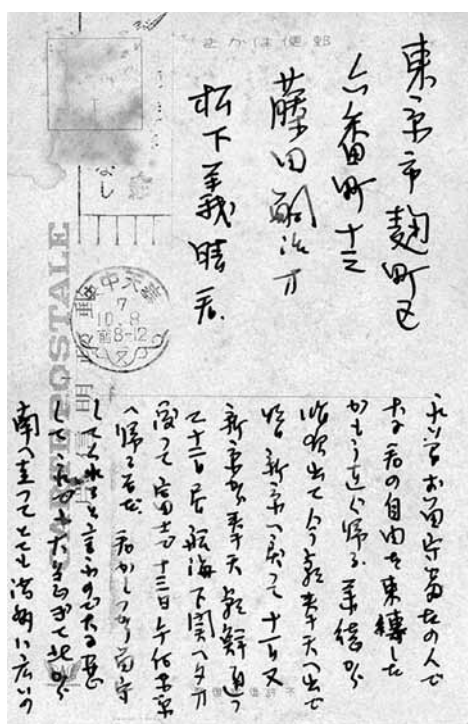
今日は奉公日

だ

皆休

みだ





東京市麹町区

六番町十三

藤田嗣治方

松下義晴君

皇紀七年十月九日の消印

永い間お留守番たのんで

大に君の自由を束縛した

がもう直ぐ帰る、承徳から

昨夜出て今朝奉天へ出て

明日新京へ戻って十一日又

新京から奉天朝鮮通っ

て十二日昼航海下関へ夕方

渡って富士で十三日午后東京

へ帰る筈だ、君がしっかり留守

してくれると言ふので大に安心

してこれでも大急ぎで北から

南へ走ってとても満州は広いの



友人諸君へも一通りは葉書も出したが

君からもよろしく材料は（作画の）安心だ

一通りまとまった、

で汽車で

寝たのが八日間

になる訳だ

しかも一度も風も

引かずお腹も

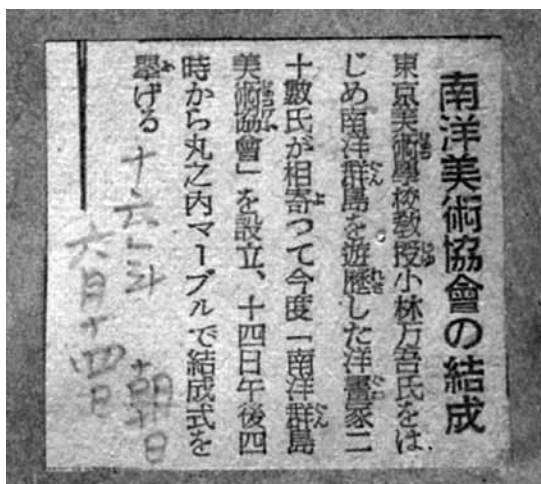
いためず 新京も

今ペスト等在る由

気をつけて外出もせず

用事をすませて帰る

みやさんへもよろしく



拜啓 盛夏の候貴下益々御清祥の段奉賀候  
陳者聖戰四週年を迎へ、太平洋上、異常なる關心を持たれる秋に當り、我等南洋に遊歴せし作家三十餘名により南洋美術協會を結成し、より深き南方への認識を要望して、左記の如く作品展覧仕り候、時局柄、是が職域奉公の一端として、些少とも裨益する事あらば幸甚と存候、何卒萬障御繰合せの上御高覧頂き度、此段御案内申上候  
敬具

昭和十六年七月十五日

南洋美術協會  
南洋群島文化協會

後援

**會場** 銀座 三越 七階

**會期** 七月廿日より廿四日迄(廿一日公休日)

**出品者**

西尾 尊積	堀田 清治	小川 卓爾	太田 壽
和田 香苗	片岡 銀藏	横田 助太郎	高橋 亮
武田 範芳	田邊 積	染 本 照	中西 二郎
村田 保三	上野山 清賀	内 堀 勉	國 光 興
山崎 省三	山崎 坤象	松下 義晴	藤 本 東一良
布施 信太郎	五味 清吉	小 菅 徳二	寺 門 幸藏
小林 萬吾	秋保 正三	笹 鹿 彪	佐々木 一孔
佐藤 文雄	木原 二郎	北 島 澄一	宮本 恒平
宮川 仁	三木 辰雄	瀧 野 覺藏	

會長

第一回南洋美術協会展目録	
会期 新嘉坡 三月八日	主 席 海峽植民地南洋美術協会
七月廿日（土）	開 演 南洋美術協会
廿七日（土）	閉 演 南洋美術協会
第一回南洋美術協会展覧會	
後 援 海峽省・文部省・森林省	
協 助 海峽省・情報局	
中 介 海峽省（全日）	左 々 々 々（全日）
1 1 バイオグラフィック	20 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000 1001 1002 1003 1004 1005 1006 1007 1008 1009 1010 1011 1012 1013 1014 1015 1016 1017 1018 1019 1020 1021 1022 1023 1024 1025 1026 1027 1028 1029 1030 1031 1032 1033 1034 1035 1036 1037 1038 1039 1040 1041 1042 1043 1044 1045 1046 1047 1048 1049 1050 1051 1052 1053 1054 1055 1056 1057 1058 1059 1060 1061 1062 1063 1064 1065 1066 1067 1068 1069 1070 1071 1072 1073 1074 1075 1076 1077 1078 1079 1080 1081 1082 1083 1084 1085 1086 1087 1088 1089 1090 1091 1092 1093 1094 1095 1096 1097 1098 1099 1100 1101 1102 1103 1104 1105 1106 1107 1108 1109 1110 1111 1112 1113 1114 1115 1116 1117 1118 1119 1120 1121 1122 1123 1124 1125 1126 1127 1128 1129 1130 1131 1132 1133 1134 1135 1136 1137 1138 1139 1140 1141 1142 1143 1144 1145 1146 1147 1148 1149 1150 1151 1152 1153 1154 1155 1156 1157 1158 1159 1160 1161 1162 1163 1164 1165 1166 1167 1168 1169 1170 1171 1172 1173 1174 1175 1176 1177 1178 1179 1180 1181 1182 1183 1184 1185 1186 1187 1188 1189 1190 1191 1192 1193 1194 1195 1196 1197 1198 1199 1200 1201 1202 1203 1204 1205 1206 1207 1208 1209 1210 1211 1212 1213 1214 1215 1216 1217 1218 1219 1220 1221 1222 1223 1224 1225 1226 1227 1228 1229 1230 1231 1232 1233 1234 1235 1236 1237 1238 1239 1240 1241 1242 1243 1244 1245 1246 1247 1248 1249 1250 1251 1252 1253 1254 1255 1256 1257 1258 1259 1260 1261 1262 1263 1264 1265 1266 1267 1268 1269 1270 1271 1272 1273 1274 1275 1276 1277 1278 1279 1280 1281 1282 1283 1284 1285 1286 1287 1288 1289 1290 1291 1292 1293 1294 1295 1296 1297 1298 1299 1300 1301 1302 1303 1304 1305 1306 1307 1308 1309 1310 1311 1312 1313 1314 1315 1316 1317 1318 1319 1320 1321 1322 1323 1324 1325 1326 1327 1328 1329 1330 1331 1332 1333 1334 1335 1336 1337 1338 1339 1340 1341 1342 1343 1344 1345 1346 1347 1348 1349 1350 1351 1352 1353 1354 1355 1356 1357 1358 1359 1360 1361 1362 1363 1364 1365 1366 1367 1368 1369 1370 1371 1372 1373 1374 1375 1376 1377 1378 1379 1380 1381 1382 1383 1384 1385 1386 1387 1388 1389 1390 1391 1392 1393 1394 1395 1396 1397 1398 1399 1400 1401 1402 1403 1404 1405 1406 1407 1408 1409 1410 1411 1412 1413 1414 1415 1416 1417 1418 1419 1420 1421 1422 1423 1424 1425 1426 1427 1428 1429 1430 1431 1432 1433 1434 1435 1436 1437 1438 1439 1440 1441 1442 1443 1444 1445 1446 1447 1448 1449 1450 1451 1452 1453 1454 1455 1456 1457 1458 1459 1460 1461 1462 1463 1464 1465 1466 1467 1468 1469 1470 1471 1472 1473 1474 1475 1476 1477 1478 1479 1480 1481 1482 1483 1484 1485 1486 1487 1488 1489 1490 1491 1492 1493 1494 1495 1496 1497 1498 1499 1500 1501 1502 1503 1504 1505 1506 1507 1508 1509 1510 1511 1512 1513 1514 1515 1516 1517 1518 1519 1520 1521 1522 1523 1524 1525 1526 1527 1528 1529 1530 1531 1532 1533 1534 1535 1536 1537 1538 1539 1540 1541 1542 1543 1544 1545 1546 1547 1548 1549 1550 1551 1552 1553 1554 1555 1556 1557 1558 1559 1560 1561 1562 1563 1564 1565 1566 1567 1568 1569 1570 1571 1572 1573 1574 1575 1576 1577 1578 1579 1580 1581 1582 1583 1584 1585 1586 1587 1588 1589 1590 1591 1592 1593 1594 1595 1596 1597 1598 1599 1600 1601 1602 1603 1604 1605 1606 1607 1608 1609 1610 1611 1612 1613 1614 1615 1616 1617 1618 1619 1620 1621 1622 1623 1624 1625 1626 1627 1628 1629 1630 1631 1632 1633 1634 1635 1636 1637 1638 1639 1640 1641 1642 1643 1644 1645 1646 1647 1648 1649 1650 1651 1652 1653 1654 1655 1656 1657 1658 1659 1660 1661 1662 1663 1664 1665 1666 1667 1668 1669 1670 1671 1672 1673 1674 1675 1676 1677 1678 1679 1680 1681 1682 1683 1684 1685 1686 1687 1688 1689 1690 1691 1692 1693 1694 1695 1696 1697 1698 1699 1700 1701 1702 1703 1704 1705 1706 1707 1708 1709 1710 1711 1712 1713 1714 1715 1716 1717 1718 1719 1720 1721 1722 1723 1724 1725 1726 1727 1728 1729 1730 1731 1732 1733 1734 1735 1736 1737 1738 1739 1740 1741 1742 1743 1744 1745 1746 1747 1748 1749 1750 1751 1752 1753 1754 1755 1756 1757 1758 1759 1760 1761 1762 1763 1764 1765 1766 1767 1768 1769 1770 1771 1772 1773 1774 1775 1776 1777 1778 1779 1780 1781 1782 1783 1784 1785 1786 1787 1788 1789 1790 1791 1792 1793 1794 1795 1796 1797 1798 1799 1800 1801 1802 1803 1804 1805 1806 1807 1808 1809 1810 1811 1812 1813 1814 1815 1816 1817 1818 1819 1820 1821 1822 1823 1824 1825 1826 1827 1828 1829 1830 1831 1832 1833 1834 1835 1836 1837 1838 1839 1840 1841 1842 1843 1844 1845 1846 1847 1848 1849 1850 1851 1852 1853 1854 1855 1856 1857 1858 1859 1860 1861 1862 1863 1864 1865 1866 1867 1868 1869 1870 1871 1872 1873 1874 1875 1876 1877 1878 1879 1880 1881 1882 1883 1884 1885 1886 1887 1888 1889 1890 1891 1892 1893 1894 1895 1896 1897 1898 1899 1900 1901 1902 1903 1904 1905 1906 1907 1908 1909 1910 1911 1912 1913 1914 1915 1916 1917 1918 1919 1920 1921 1922 1923 1924 1925 1926 1927 1928 1929 1930 1931 1932 1933 1934 1935 1936 1937 1938 1939 1940 1941 1942 1943 1944 1945 1946 1947 1948 1949 1950 1951 1952 1953 1954 1955 1956 1957 1958 1959 1960 1961 1962 1963 1964 1965 1966 1967 1968 1969 1970 1971 1972 1973 1974 1975 1976 1977 1978 1979 1980 1981 1982 1983 1984 1985 1986 1987 1988 1989 1990 1991 1992 1993 1994 1995 1996 1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2031 2032 2033 2034 2035 2036 2037 2038 2039 2040 2041 2042 2043 2044 2045 2046 2047 2048 2049 2050 2051 2052 2053 2054 2055 2056 2057 2058 2059 2060 2061 2062 2063 2064 2065 2066 2067 2068 2069 2070 2071 2072 2073 2074 2075 2076 2077 2078 2079 2080 2081 2082 2083 2084 2085 2086 2087 2088 2089 2090 2091 2092 2093 2094 2095 2096 2097 2098 2099 2100 2101 2102 2103 2104 2105 2106 2107 2108 2109 2110 2111 2112 2113 2114 2115 2116 2117 2118 2119 2120 2121 2122 2123 2124 2125 2126 2127 2128 2129 2130 2131 2132 2133 2134 2135 2136 2137 2138 2139 2140 2141 2142 2143 2144 2145 2146 2147 2148 2149 2150 2151 2152 2153 2154 2155 2156 2157 2158 2159 2160 2161 2162 2163 2164 2165 2166 2167 2168 2169 2170 2171 2172 2173 2174 2175 2176 2177 2178 2179 2180 2181 2182 2183 2184 2185 2186 2187 2188 2189 2190 2191 2192 2193 2194 2195 2196 2197 2198 2199 2200 2201 2202 2203 2204 2205 2206 2207 2208 2209 2210 2211 2212 2213 2214 2215 2216 2217 2218 2219 2220 2221 2222 2223 2224 2225 2226 2227 2228 2229 2230 2231 2232 2233 2234 2235 2236 2237 2238 2239 2240 2241 2242 2243 2244 2245 2246 2247 2248 2249 2250 2251 2252 2253 2254 2255 2256 2257 2258 2259 2260 2261 2262 2263 2264 2265 2266 2267 2268 2269 2270 2271 2272 2273 2274 2275 2276 2277 2278 2279 2280 2281 2282 2283 2284 2285 2286 2287 2288 2289 2290 2291 2292 2293 2294 2295 2296 2297 2298 2299 2300 2301 2302 2303 2304 2305 2306 2307 2308 2309 2310 2311 2312 2313 2314 2315 2316 2317 2318 2319 2320 2321 2322 2323 2324 2325 2326 2327 2328 2329 2330 2331 2332 2333 2334 2335 2336 2337 2338 2339 2340 2341 2342 2343 2344 2345 2346 2347 2348 2349 2350 2351 2352 2353 2354 2355 2356 2357 2358 2359 2360 2361 2362 2363 2364 2365 2366 2367 2368 2369 2370 2371 2372 2373 2374 2375 2376 2377 2378 2379 2380 2381 2382 2383 2384 2385 2386 2387 2388 2389 2390 2391 2392 2393 2394 2395 2396 2397 2398 2399 2400 2401 2402 2403 2404 2405 2406 2407 2408 2409 2410 2411 2412 2413 2414 2415 2416 2417 2418 2419 2420 2421 2422 2423 2424 2425 2426 2427 2428 2429 2430 2431 2432 2433 2434 2435 2436 2437 2438 2439 2440 2441 2442 2443 2444 2445 2446 2447 2448 2449 2450 2451 2452 2453 2454 2455 2456 2457 2458 2459 2460 2461 2462 2463 2464 2465 2466 2467 2468 2469 2470 2471 2472 2473 2474 2475 2476 2477 2478 2479 2480 2481 2482 2483 2484 2485 2486 2487 2488 2489 2490 2491 2492 2493 2494 2495 2496 2497 2498 2499 2500 2501 2502 2503 2504 2505 2506 2507 2508 2509 2510 2511 2512 2513 2514 2515 2516 2517 2518 2519 2520 2521 2522 2523 2524 2525 2526 2527 2528 2529 2530 2531 2532 2533 2534 2535 2536 2537 2538 2539 2540 2541 2542 2543 2544 2545 2546 2547 2548 2549 2550 2551 2552 2553 2554 2555 2556 2557 2558 2559 2560 2561 2562 2563 2564 2565 2566 2567 2568 2569 2570 2571 2572 2573 2574 2575 2576 2577 2578 2579 2580 2581 2582 2583 2584 2585 2586 2587 2588 2589 2590 2591 2592 2593 2594 2595 2596 2597 2598 2599 2600 2601 2602 2603 2604 2605 2606 2607 2608 2609 2610 2611 2612 2613 2614 2615 2616 2617 2618 2619 2620 2621 2622 2623 2624 262

第二回南洋美術展覧案内状

謹啓 盛夏の候貴下益々御清祥の段幸慶賀候  
陳者大東亞戦争の赫赫たる戦果に應へ南海に  
遊歴せし作者冊餘名にて結成の南洋美術協會  
は茲に南方共榮圖を描く近作を執筆し第二回  
美術展開催の運びと相成候就いては聖職目的  
完遂の建設面を語る認識昂揚の意味を以つて  
御高覽を賜り度御案内申上候 敬具

南方共榮圖を描く  
第二回「南洋美術展覧會」  
會期昭和十七年七月十七日至七月廿二日  
會場銀座 松坂屋 七階

主幹 南洋美術協會  
東京日日新聞社  
後援 陸軍省・海軍省・拓務省・文部省・大藏省・南洋廳

出品者  
西尾 晉 堀田 清治 太田 淳 和田 香苗  
吉田 延志 横田 助太郎 高橋 亮 武田 龍芳  
中西 二郎 堀原 益太 村田 保三 上野 清實  
上野 泰香 内堀 勉 國光 興 兒玉 彦三  
山崎 坤象 山尾 憲明 松下 義晴 藤木 東一良  
布島 信太郎 會長 小林 萬吾 小曾 徳二 佐藤 忠  
小林 禮 秋保 正三 赤松 俊子 宮川 仁  
佐々木 孔 佐藤 文雄 高留 満 寺門 幸藏  
三木 辰雄 三雲 祥之助 滿留 満 宮川 仁  
社 永 川島 理一郎 吉田 博  
伊原 宇三郎

第二回南洋美術展覧會出品目録

「南方共榮圖を描く」  
第二回南洋美術展覧會出品目録

南方共榮圖十五組  
スマトラ 山崎 坤象  
スマタラ 山崎 坤象  
スマタラ 山崎 坤象  
スマタラ 山崎 坤象  
スマタラ 山崎 坤象  
スマタラ 山崎 坤象  
スマタラ 山崎 坤象  
スマタラ 山崎 坤象  
スマタラ 山崎 坤象  
スマタラ 山崎 坤象  
スマタラ 山崎 坤象  
スマタラ 山崎 坤象  
スマタラ 山崎 坤象  
スマタラ 山崎 坤象  
スマタラ 山崎 坤象

出品者  
西尾 晉 堀田 清治 太田 淳 和田 香苗  
吉田 延志 横田 助太郎 高橋 亮 武田 龍芳  
中西 二郎 堀原 益太 村田 保三 上野 清實  
上野 泰香 内堀 勉 國光 興 兒玉 彦三  
山崎 坤象 山尾 憲明 松下 義晴 藤木 東一良  
布島 信太郎 會長 小林 萬吾 小曾 徳二 佐藤 忠  
小林 禮 秋保 正三 赤松 俊子 宮川 仁  
佐々木 孔 佐藤 文雄 高留 満 寺門 幸藏  
三木 辰雄 三雲 祥之助 滿留 満 宮川 仁  
社 永 川島 理一郎 吉田 博  
伊原 宇三郎

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

「古北口総攻撃」下絵前の集合写真



旧東京都美術館前での集合写真





# 聲 明 書

我が國は美術國としての輝かしい傳統を持つてをります  
かつて歐米的技法の輸入により思はざる混亂に陥つたわが  
繪畫道も 今や峻烈な自己批判を加へ「大いなる希望」を  
意味する 必然の胎動期を経て やうやく 國の力として  
の 民族の意志としての若々しくたくましい 新生の時代  
を迎へんとしてをります こゝに所謂日本畫油畫の差別を  
越へて若き同志相集り 先輩諸氏の心からなる賛同を得て  
新たに三三美術團を結成し 日本的性格に基く新時代の繪  
畫道を拓くことによつて 明日の日本文化建設に寄與すべ  
く起ちあがることになりました そしてその第一回展覽會  
を上野公園竹の台日本美術協會に於て九月十九日から二十  
五日迄開催するはこびとなりました ついては我々の微意  
に御登同下さいました諸氏にあつく感謝すると同時に志を  
俱にする同輩後輩諸君の御協力を切にお願ひ申上げます。

## 三三美術團

今井 鱸 人 雜 賀 文 子  
長谷川 優 策 佐々木 孔  
成井 弘 文 高 階 重 紀  
野々口 重 濱 倉 清 光  
松 下 義 晴 宮 川 仁

事務所  
王子區船付町五ノ九八二宮川方

(昭和三年三月十一日文化部長官認可)

# 謹 啓

豊かに實る秋を聖戦下に迎へまして皆様益々御多祥  
の御事と御慶び申上ます 陳者今回日本の性格に基く  
繪畫道探究の志を同じする日本畫油繪の若き同志相集  
り三三美術團を結成いたしこゝに第一回展覽會を左記  
の通り開催いたすことになりました 皆様の御清鑑を  
仰ぎ御批判と御鞭撻を賜り度御案内申上げます

場所 上野公園竹の台日本美術協會  
期日 九月十九日より同二十五日迄

## 三三美術團

伊藤 仁三郎 要 樹 平 雜 賀 文 子  
今井 鱸 人 高 階 重 紀 佐々木 孔  
濱倉 清 光 成井 弘 文 澤 田 石 氏  
長谷川 優 策 梅 原 藤 波 宮 川 仁  
林 司 馬 野々口 重 推 野 修  
新見 盛 舟 松 下 義 晴

## 殿

(御來場の際は此狀御持参下さいます敬願します)



# 三三美術團 展覽會

## 聲明書

我が國は美術國としての輝かしい傳統を持つてをります。かつて歐米の技法の輸入により思はざる混亂に陥つたのが繪畫道も。今や峻烈な自己批判を加へ「大いなる希望」を意味する必然の胎動期を経て、やうやく國の力としての民族の意志としての若々しくたくましい新生の時代を迎へんとしてをります。こゝに所謂日本畫油畫の差別を越へて若々同志相集り先輩諸氏の心からなる賛同を得て、新たに三三美術團を結成し、日本的性格に基く新時代の繪畫道を拓くことによつて明日の日本文化建設に寄與すべく起ちあがることになりました。そしてその第一回展覽會を上野公園櫻ヶ丘日本美術協會に於て九月十九日から二十五日迄開催するはこびとなりました。ついでには我々の微意に御賛同下さいました諸氏にあつく感謝すると同時に志を共にする同輩後輩諸君の協力力を切にお願ひ申し上げます。

三三美術團

## 目錄

(イロハ順)

團員

伊藤仁三郎 (日本畫)

一、猪

二、山 畑

三、萬 經 園

團員

今井 繪人 (油畫)

一、子供たち

二、若い人

團員

要 樹 平 (日本畫)

一、菊

二、拓 榴

三、吾家の柘榴

四、晚 秋

五、猫と蔬菜

画家・松下明治 — その生涯について — 藤田嗣治から松下義晴（治）への絵はがき

<p>高階 重紀</p> <p>一、風景 博多(二)</p> <p>二、風景 博多(二)</p> <p>三、風景 博多(三)</p>	<p>成井 弘文 (前書)</p> <p>一、苗 取り</p> <p>二、支那みやげ</p>	<p>梅原 藤坡 (日本書)</p> <p>一、戸 隠</p> <p>二、新樹の谷</p> <p>三、田 植</p> <p>四、櫻 椿</p>	<p>野々口 重 (前書)</p> <p>一、海 女 (一)</p> <p>二、海 女 (二)</p> <p>三、カジメ</p>
<p>松下 義晴</p> <p>一、コブラ</p> <p>二、みなみ</p>	<p>難賀 文子 (前書)</p> <p>一、薔と裸婦</p> <p>二、海をまよる</p> <p>三、山</p> <p>四、海</p>	<p>佐々木 孔 (前書)</p> <p>一、網を繕ふ人</p> <p>二、漁具整備</p>	<p>澤田 石民 (日本書)</p> <p>一、猿</p> <p>二、秋 山</p> <p>三、鳩</p>
<p>宮川 仁 (前書)</p> <p>一、千鳥の印象</p> <p>二、祭典の追憶</p> <p>三、特設防護園</p>	<p>新見 虚舟 (日本書)</p> <p>一、萬 瀑 洞</p> <p>二、法 起 庵</p> <p>三、普 徳 窟</p> <p>四、雲 山 閣</p> <p>五、峠 路 (成鏡洪君里)</p>	<p>磯谷 三三 (前書)</p> <p>一、逕</p> <p>二、窓 透る人</p>	<p>戸 英造 (前書)</p> <p>一、風 景</p> <p>二、風 景</p>
<p>萩森 久朗 (前書)</p> <p>一、水 邊</p> <p>二、ランプなど</p> <p>伴 ユリ (前書)</p> <p>一、角 笛</p>	<p>西 正世志 (日本書)</p> <p>一、うづら</p>	<p>西原比呂志 (前書)</p> <p>一、部屋の間</p>	<p>西本白鳥 (前書)</p> <p>一、妙義風景</p> <p>奥山 勲 (前書)</p> <p>一、岩 蔭</p> <p>二、竹 籬</p>

昭和十八年九月六日——十三日  
東京上野公園櫻ヶ岡 日本美術協會

第二回 三三美術團展覽會出品目錄

三三美術團

團員住所

(イロハ順)

伊藤仁三郎	京市上京區北野馬場町二
今井組人	京市上京區豐登王町二
林司馬	京市上京區豐登王町二
新見盧舟	京市市上京區北白馬場二
要樹平	京市市上京區向本二
高階重紀	京市市上京區平島町一八二
成井弘文	京市市上京區大宮町一八二
梅原藤坡	京市市上京區赤松町二五
野々口重	京市市上京區赤松町一三
松下義晴	京市市上京區赤松町一三
佐々木孔	京市市上京區赤松町一三
澤田石仁	京市市上京區赤松町一三
宮川仁	京市市上京區赤松町一三
推野修	京市市上京區赤松町一三

[illegible]

一七	秋	兼	水田	黄牛
一八	モデルと自畫像	金原	昌平	
一九	水	藤本	かほり	
二〇	麗	同		
二一	庭	同		
二二	海邊の子供	同		
二三	害虫驅除作業	同	井弘文	
二四	波止	同		
二五	野	同		
二六	冬	同	磯谷	茶三
二七	山村	同	鬼	香
二八	山	同		
二九	雪	同	九鬼	茶香
三〇	北	同	新見	虚舟
三一	伐	同		
三二	雪	同		



